

令和7年度 母子保健指導者養成研修
乳幼児に対する支援に関する研修

遊びと体験

宮田まり子(白梅学園大学)

本日のお話

- ・子どもの「遊び」とは
- ・子どもの「遊び」を援助するとは

- Denn es ist freit ige Darstellung des Innern , die Darstellung des Innern aus Notwendigkeit und Bed rfnis des Innern selbst, was auch das Wort Spiel selbst sagt.

Friedrich Fr bel

- それは内なる自己の自由な表現であり、内なる自己自身の必要性と要求から内なる自己を表現するものである。Spiel(=遊び/踊り)という言葉が示しているように

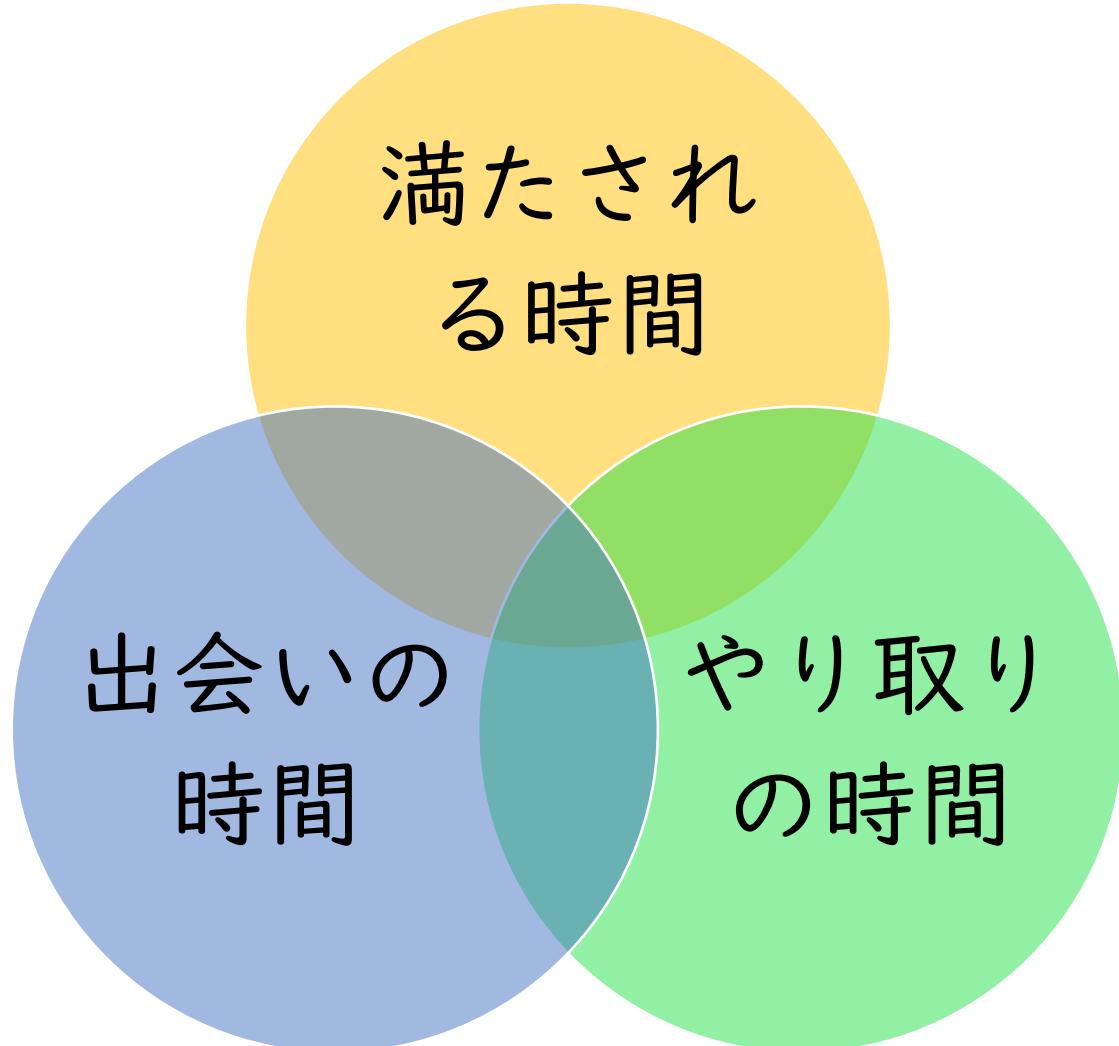
形ある遊び・名前が付いた遊び

目で見て捉えられるもの

形のない遊び・名前が付いていない遊び

その人の心の中にあること

子どもの遊びとは



生後5か月



出会い
の時間

感じる



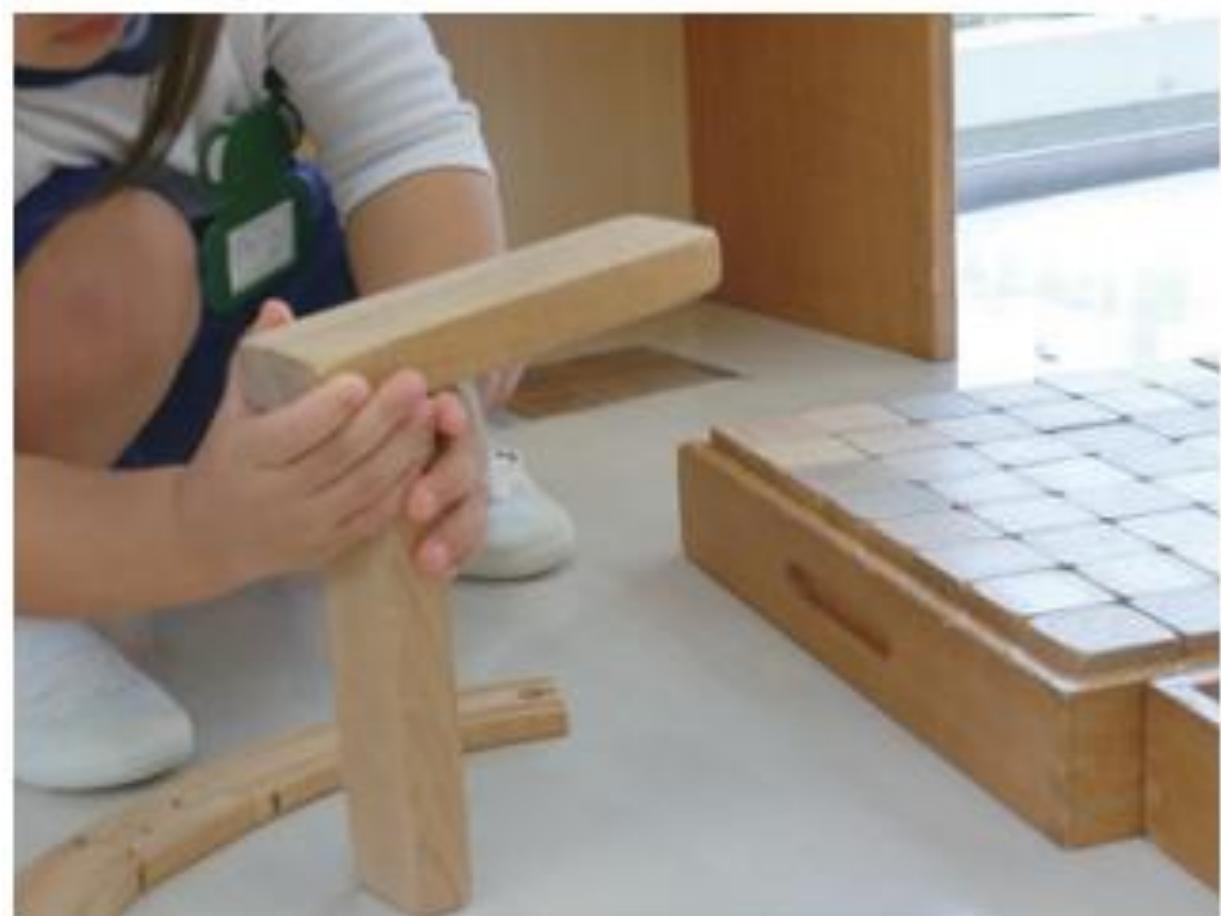
亀ヶ谷忠宏(2018)「創造性こそ21世紀に必要な生きる力」『調査研究シリーズ71 これからの時代に求められる資質・能力を育成するための幼児教育指導』,公益財団法人 日本教材文化研究財団,p97

やり取り
の時間

子どもの遊び=ゆっくり じっくり 時間をかけて作られる物語



やり取り
の時間



深まる

やり取り
の時間

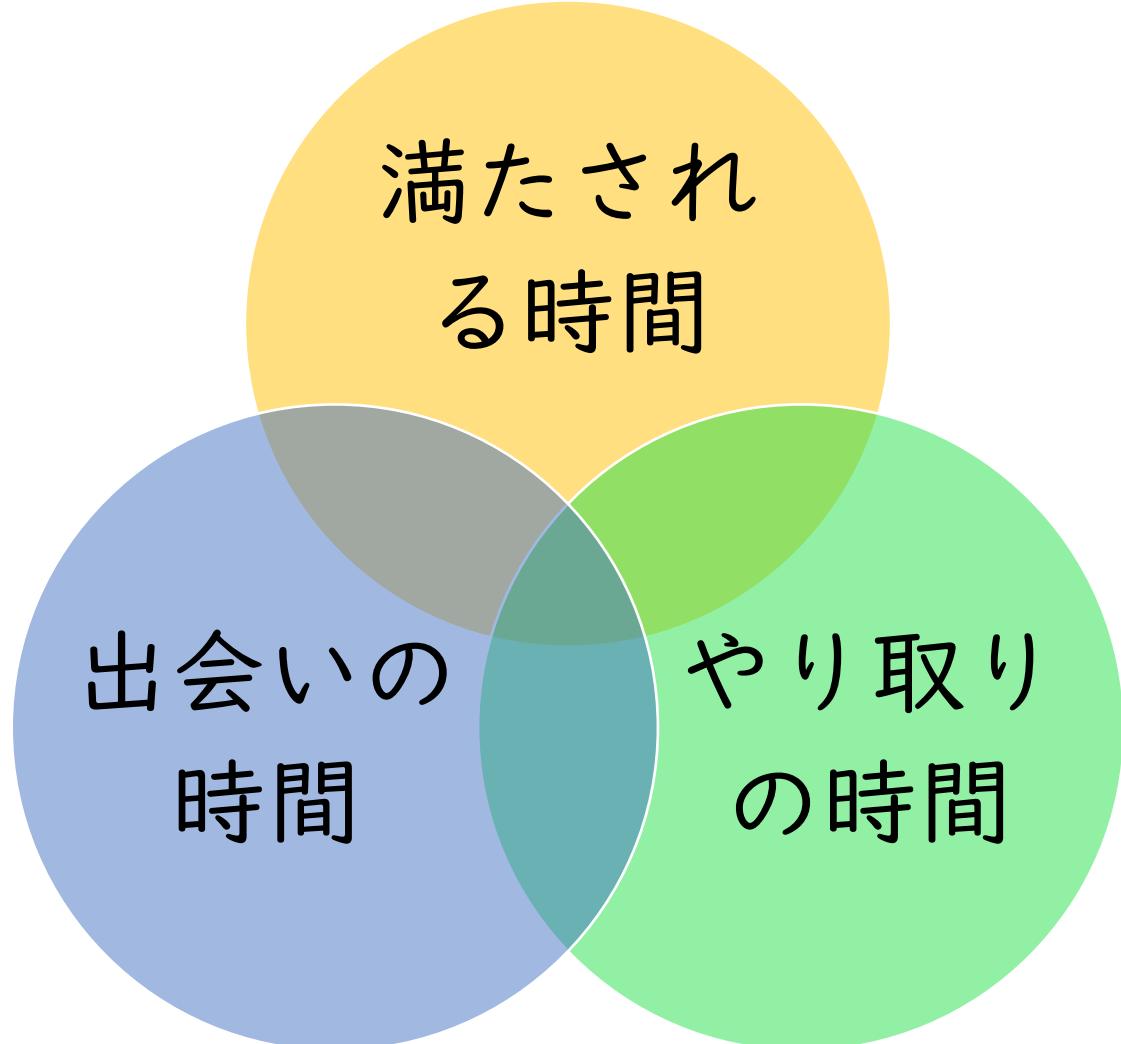
やりたいこと・なりたいものをイメージする



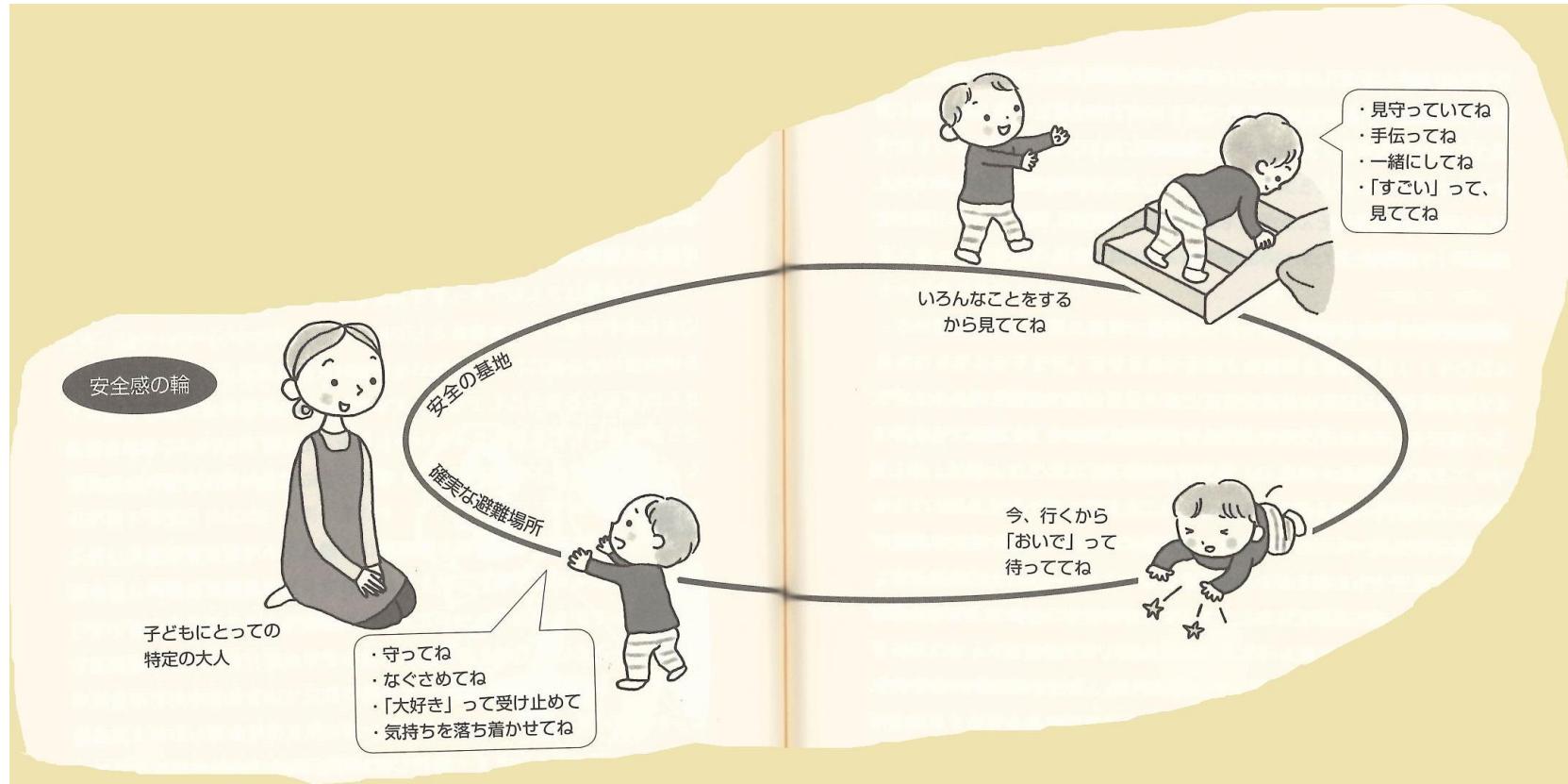
満たされ
る時間



子どもの遊びには



「安全の基地」が作られていく



乳幼児期に満たされる意欲と自信をもとにして



学童期からの学びへ

「おーい。こっちに来て
ごらーん。眺めがいい
ぞー。」



「○○したら登れる
ぞー」



意 欲

自 信

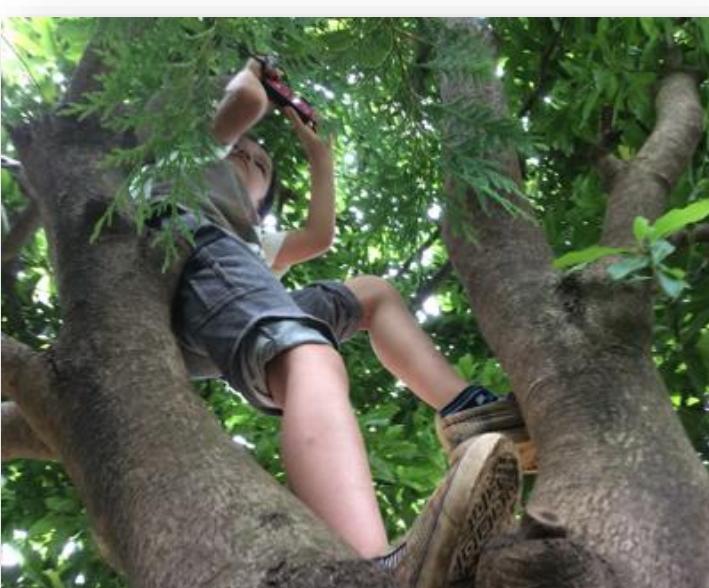
子どもの遊びを援助する

- ・ポイント

1. 子どもの声を聴く…子どもの思いをもとに(子どもの視点に立つ)
2. 遊びの過程を楽しむ…共に遊ぶ

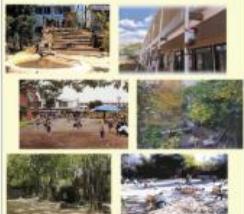
満たされる思いあふれる時間になるように

3. 振り返る…遊びの過程を振り返り、伝え合う(お話をする)



子どもの経験をより豊かに
園庭の質向上のための一工夫へのいざない

『子どもの経験をより豊かに：
園庭の質向上のための一工夫へのいざない』
'To Enrich Children's Experiences:
The Introduction of Devices for Improving the
Quality of Playgrounds'
東京大学発達保育実践政策学センター(Cedep)





子どもの経験をより豊かに
園庭の質向上のためのひと工夫へいかない

『子どもの経験をより豊かに：
園庭の質向上のための一工夫へのいざない』
'To Enrich Children's Experiences:
The Introduction of Devices for Improving the
Quality of Playgrounds'

東京大学発達保育実践政策学センター(Cedep)



大人の視点から公園を見ると…

子どもの視点から公園を見ると…





■ こどもを夢中にさせるおもちゃ！

こどものおもちゃ、大人は何を気にしたらいいの？



宮田まり子先生
専門：こどもの遊び、
保育教材

多くのこどもは、最初に物、つまりはおもちゃと出会い、おもちゃとの関わりの中で物の性質や特徴を知っていきます。それらの知はやがて、この世界にある様々な仕組みや原理を知ることにつながっていきます。また物がきっかけとなり、人との関係も生まれ育まれています。

こどもがおもちゃで遊んでいるときは、おもちゃそのものの素材や形のほか、個数やきまりなどのおもちゃが扱われる状況に注意してみましょう。

- ①やりたいと思う気持ちが実現できるもの、
- ②おもちゃを自由に操作することができる状況(自由に操作できる素材や形)、
- ③多様な素材や形、動きが経験できること、
- ④作り手の意図とは異なる使い方が創造されるなど、

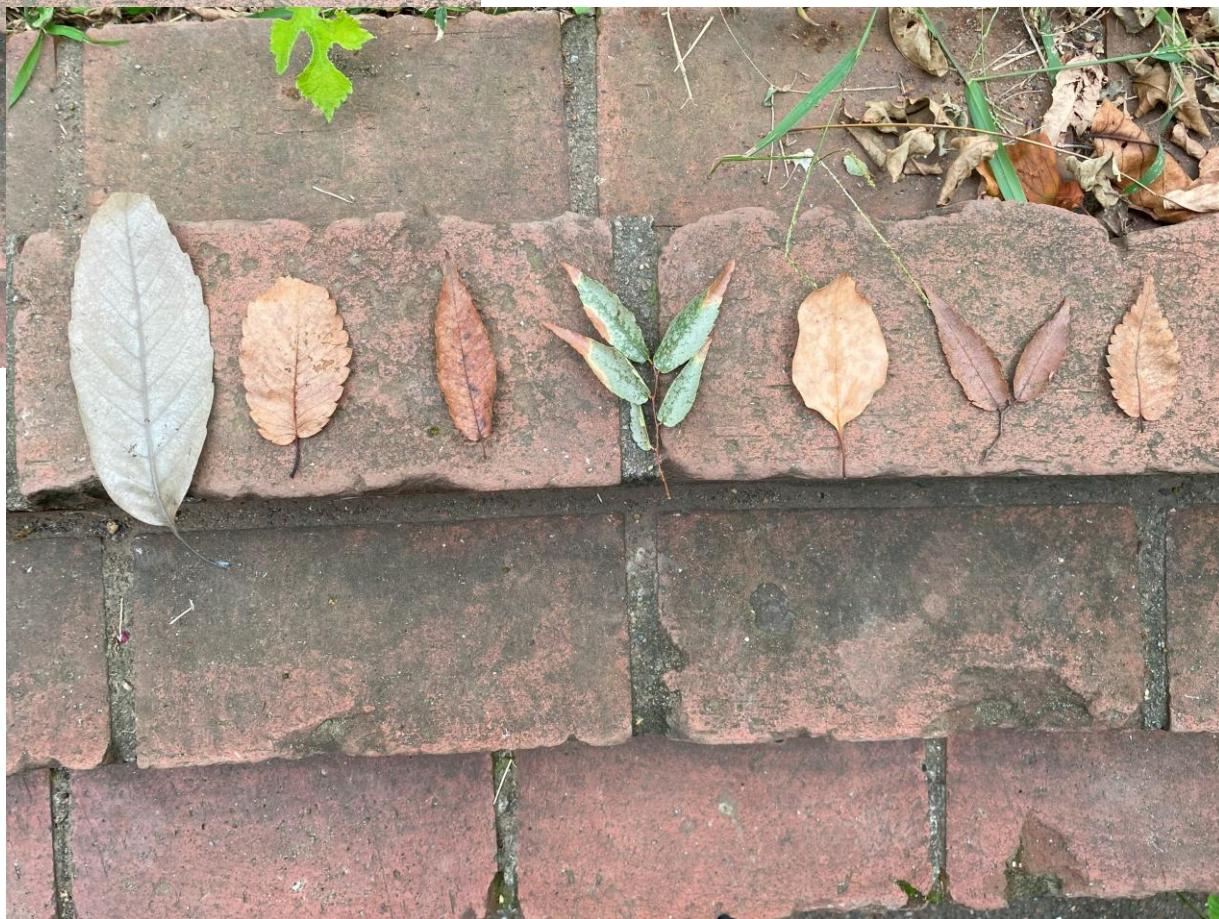
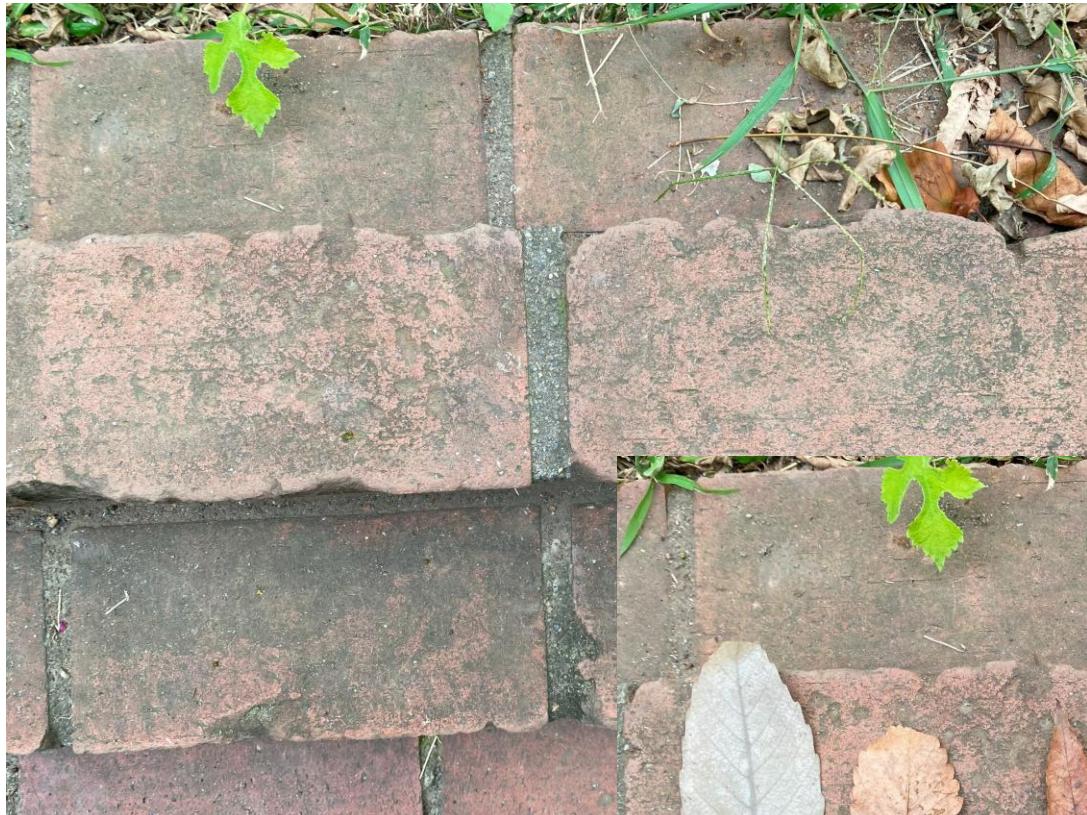
創意工夫が生まれる状況や個数であることの4点が大切です。

石があったり葉っぱがあったり虫がいたり…多様な物がある







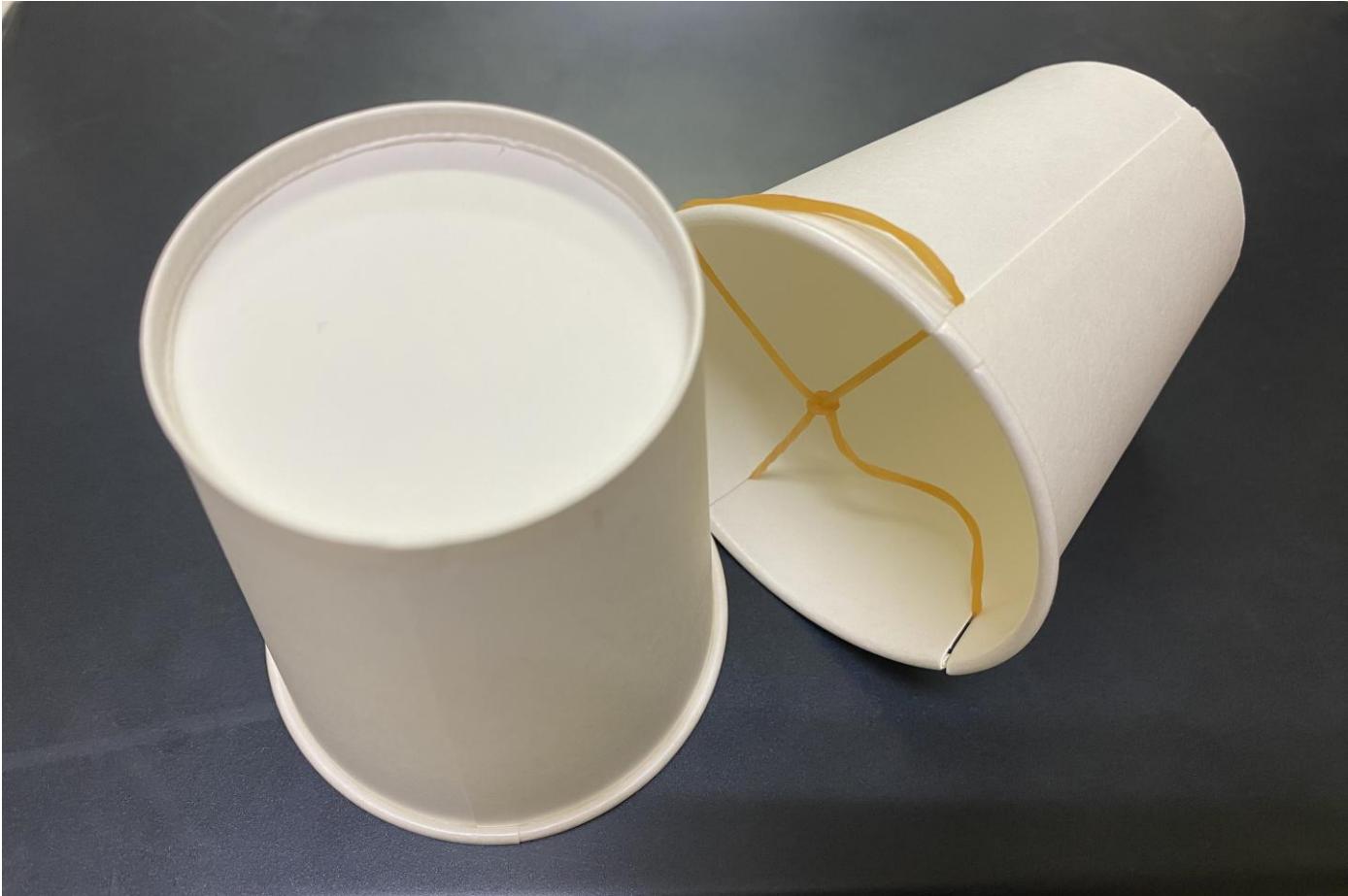








- ・家庭にある素材でできる。
- ・簡単…たくさん巻いたり、少なく巻いたり、軸を長くしたりなど、遊び手が簡単に作り変えることができる。
- ・手が加えられて結果がみえる…動き(上手く回せば長く回る)が単純でわかりやすく、回るという結果に対して、「作り方」「回し方」「回す場所」等を変えるといった工夫ができる。
- ・回す、長く回す、大きく作る、小さく作る、色を変える等々、一つの遊びだけでなく、様々に楽しむことができる。

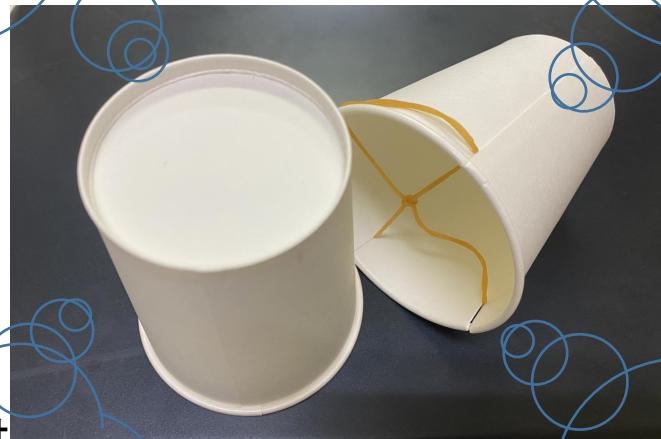


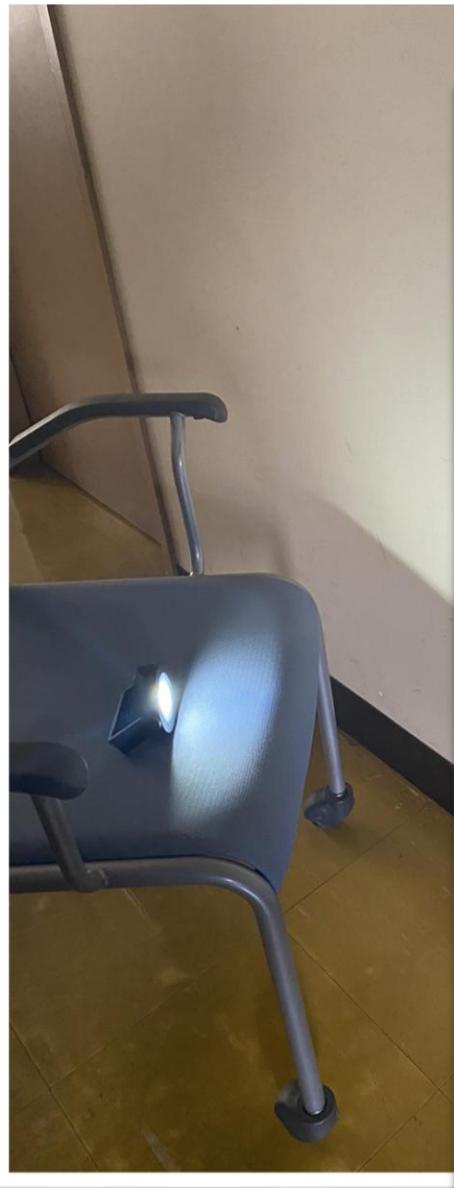
これは何かな?
「これは口ケットかな?カエル
かな?それともセミ?」
見立てる。イメージする。色
塗ったり形を付けたりする。

どれくらい高く(遠く)飛ぶ
か、競争しよう!
「椅子の上に乗るかな?」
目標を設定するなどして
どこまで飛んだかを可視
化して共有する

紙コップの大きさや材
質を変えてみる、輪ゴ
ムの太さや長さを変
えてみる等、素材に
よる違いを楽しむ。違
いに気づき、違いを
知る。

?
他にどんなアイディアが
あるかと共に考えること
も楽しんで





子どもと共に遊ぶこと

- ・大人も楽しむ。遊びは、その遊びを楽しむ姿に誘われて始まることもある。
…その人の得意なこと、好きなこと、やってみたいことを活かせる遊び等、
子どもとともに楽しむことができることを探してみる。
→【子：誘われる(遊ぶ体験ができる)・遊びを知ることができ】
- ・大人は「できる」モデルだけでなく試行錯誤するモデルにもなれる。
…「遊び」に正解は無い。だからこそ、失敗も意味ある出来事になる。
→【子：失敗しても挑戦し続ける意欲や態度、またその価値を知ることができ
・物の扱い方や道具の使い方などスキルを身に付ける】
- ・結果ではなく過程を楽しむ
…例えば、おもちゃを作って遊ぼう大人が誘って始まった過程の中で、おも
ちゃ作りではない方に子どもの興味関心が向かったとしても、子どもの思い
を理解することができた時間として意味はある。その過程を楽しみ、子ども
にとって楽しい時間になれば、遊びが継続・発展する可能性も高まる。
→【子：自ら環境を変えていく、創造していくことの楽しさを知
ができる】



・積み木も、崩れるから面白い！
ということも

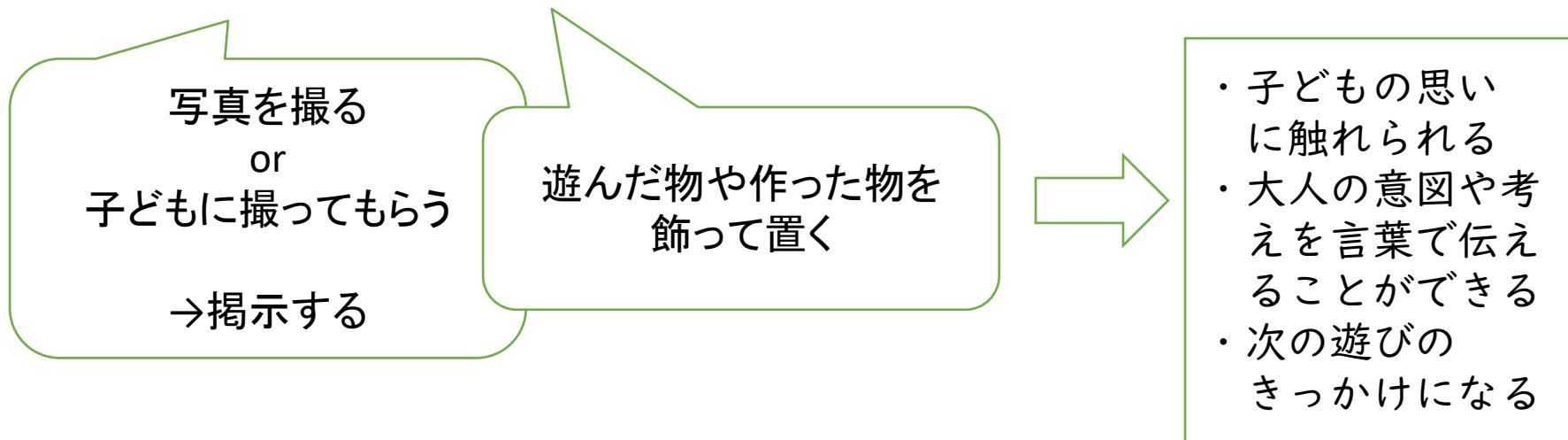
子どもの「遊び」をやってみる



子どもの遊びを援助する

・ポイント

1. 子どもの声を聴く…子どもの思いをもとに(子どもの視点に立つ)
2. 遊びの過程を楽しむ…満たされる思いを持つことを目指して
3. 振り返る…遊びの過程を振り返り、伝え合う(お話をする)





ご清聴ありがとうございました